



13番
大久保拓海くん

質問 新聞や広報などにゴミ減量につながる質問書を折り込むなどして、市民のゴミ減量への意識を高めてはどうか。
答弁 市の広報やホームページなどを通じてゴミ減量に向けた取り組みの紹介などをしていきたい。



12番
山下望結さん

質問 気軽に運動して健康に過ごすため、雨が降っても利用できる屋内公園や体育館などを増やしてはどうか。
答弁 新屋内グラウンドの建設計画に着手している。体育館は、既存施設の有効利用を図る学校開放事業を実施している。



11番
白川咲希さん

質問 観光客を増やすため、十和田湖周辺に子ども向けの公園を作ってはどうか。
答弁 観光交流センター「ぶらっと」などの既存施設で、子供たちが楽しめる取り組みを増やして、自然を活かしたツアーなどの充実も図りたい。



10番
四橋玖理州さん

質問 暗い道や学校施設周辺などに街灯を増やしてはどうか。
答弁 町内会や学区からいただいた要望を、現地調査の上で優先順位を決めて、対応をしている。防犯マップなども市民の声を反映させ、精度の高いマップを目指したい。



17番
豊川和さん

質問 アート広場以外の場所に十和田にちなんだアートの公園を作ってはどうか。
答弁 今すぐは作れないが、アートが感じられるような場づくりの展開について心掛け、提案につながるような取り組みを進めていきたい。



16番
加賀亜希乃さん

質問 地域のつながりを深めるために、高齢者と子どもが関われる環境を作ってはどうか。
答弁 市には194の集会所のほか、市民交流プラザ「タワーレ」などの公共施設でのサークル活動などを通して、世代間の交流が持たれている。



15番
野月咲花さん

質問 観光客と市民の交流が深まるよう市役所新館改修時に市内を見渡せる展望台やカフェスペースを作ってはどうか。
答弁 新しい市役所には、展望テラスや観光パンフレットなどをゆっくりと見て休憩できるスペースなどを作る予定である。



14番
佐々木煌くん

質問 交通事故を減らすため、高齢者に反射シールの配布や高齢者が集まる病院などで交通安全を呼び掛けてはどうか。
答弁 高齢者の自宅訪問において、反射材を靴などへ貼り付けるなどの交通事故を減らすための事業を実施している。



21番
長瀬蒼汰くん

質問 B-1グランプリのようなイベントの増設と市の四季の祭りを全部見た人に「お食事券」を贈呈してはどうか。
答弁 両方も費用の関係から難しいが、四季の祭りすべてに来てもらえるようなアイデアを検討していきたい。



20番
佐々木龍華さん

質問 子どもと高齢者が交流のできるイベントを実施してはどうか。
答弁 公民館などで様々な交流イベントが実施されている。今後も世代間交流できるようなイベントを関係団体と相談しながら考えていきたい。



19番
田中心雪さん

質問 使っていない建物などを利用して、大人も子どもも楽しめる施設を作ってはどうか。
答弁 現在使われていない施設などの新しい活用方法については、昨年度策定した計画の中で、優先順位をつけて考えていきたい。



18番
東奏多くん

質問 公民館などが整備されていない地域へ世代を問わず読書や運動ができる複合施設を整備してはどうか。
答弁 公共施設を再編成し、維持していくための計画を昨年度策定した。考え方はこの計画の中で可能な限り取り入れたい。



子ども議会終了後、当選証書を手にした小山田市長（中央）、西村副市長（中央左）、丸井教育長（中央右）と記念撮影

※1～8番：三本木小、9～10番：北園小、11番～12番：法典小、13～15番：南小、16～17番：東小、18番：西小、19番：藤坂小、20番：洞内小、21番～22番：ちとせ小



22番
沼岡美宙さん

質問 観光スポットと軽い運動を結びつけた参加型の観光をもっと増やしてはどうか。
答弁 現在実施されている十和田湖マラソン、十和田湖ウォークなどのイベントや観光地の楽しみ方の紹介をより充実させ継続していきたい。



十和田市の未来を考える
7月27日、市議会議場で「とわだ子ども議会」が開催されました。これは、子どもたちが議会を模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、平成25年から行っているもので、今回で5回目となります。今年度も、市内の小学6年生21人が、子どもたちの視点で十和田市をよくしたいという想いを込めて、市政に対する質問を行いました。質問に対して、小山田市長や丸井教育長が丁寧に答えると、子ども議員は一言一句聞き漏らすまいと真剣に耳を傾けていました。

市政に反映される
市では子ども議員の提案を受けて、取り組みを始めたものもあります。昨年度の子ども議会で提案された企画が、「とわだ彩（さい）発見！夏休み親子クイズ旅」として、実施されました。

今回も櫻田彩花さんの提案をさっそく取り入れ、今月号から広報の裏表紙の一番上の場所に市のデータ（他市町村などと比較したもの）を掲載し、市民の皆さんに市の現状を把握していただくこととしました。子ども議員の提案が市政に反映されています。



5番
議長 瀨川琴未さん

質問 市の有名なところを学習できるイベントを増やしてはどうか。
答弁 今年度から市内観光地などを実際に巡りながらクイズに答える親子クイズラリーを実施している。内容の向上と機会の充実に取り組んでいきたい。



4番
議長 沢田颯羽くん

質問 冬でも運動できる室内グラウンドを整備してはどうか。
答弁 現在、冬期利用可能な施設は、おらんどーむとアネックススポーツランドの2施設があるが、大変混み合っている。そのため、新屋内グラウンドの建設計画を進めている。



3番
議長 櫻田彩花さん

質問 広報に市のデータを掲載してはどうか。データを活用し、悪い点を改善しようとする人が増えるのではないかと。
答弁 市の特徴が分かるように他市町村と比較したデータの掲載など、工夫しながらデータを提供していきたい。



1番
議長 阿部若菜さん

質問 市のいいところ（自慢スポット）をまとめた本を作成してはどうか。
答弁 現在、観光地としての自慢スポットを紹介するパンフレット「とわだ旅」などがあるが、今後作成する際には、よいところが伝わるよう心掛けたい。



9番
議長 百鳥玲咲さん

質問 お年寄りが長生きできるための勉強会を開催してはどうか。
答弁 体操やレクリエーションなどに加えて、塩分の少ない食事を一緒に作り食するという事業を実施している。今後も同様の事業を増やしたい。



8番
議長 橋本知香さん

質問 海外からの観光客が多い場所に地元の生産品を使った料理店を作ってはどうか。
答弁 新たな料理店出店促進のほか、既存の料理店で、市の生産品を使った料理をもっと提供してもらうよう関係者と話し合いをしていきたい。



7番
議長 二本柳耀正くん

質問 観光客を増やすため、十和田湖を積極的にPRしてはどうか。
答弁 青森県が作成した十和田湖の魅力を伝えるユーチューブなどの配信の紹介を積極的に進めたい。また、バス会社に冬季の運行を働きかけたい。



6番
議長 二本柳晃正くん

質問 障害のある人やお年寄りが気兼ねなく外出できる環境づくりをしてはどうか。
答弁 その人の障害の程度や状況に合わせた支援サービスの実施をしている。さらに社会にあるバリアをなくしていく努力をしていきたい。